

**ベネッセの介護付きホーム**  
**『リハビリホームグランダ荻窪』 2026年10月開設（予定）**  
**オープン前特別イベント「認知症」に関する医療セミナーを6月14日に開催**

株式会社ベネッセスタイルケアグループ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 CEO：小林 仁）のグループ会社である株式会社ベネッセスタイルケア（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：滝山 真也）はベネッセの介護付きホーム『リハビリホームグランダ荻窪』（介護付有料老人ホーム 一般型特定施設入居者生活介護 指定申請予定）を、2026年10月、東京都杉並区に新規開設いたします。

このたび開設する『リハビリホームグランダ荻窪』は、24時間の介護体制のもと、機能訓練指導員（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などの有資格者）によるリハビリや介護予防への取り組みを通じ、ご入居者様の「身体」と向き合うケアを提供するとともに、趣味活動や交流の場を通じて「心」のつながりを育む暮らしをご提案いたします。また杉並区清水二丁目に開設する本ホームは、歴史と文化が息づく荻窪エリアに位置し、交通利便性と落ち着いた住環境を兼ね備えた地域です。地域とのつながりも大切にしながら、ご入居者様お一人おひとりの「その方らしい生活」の実現を支えてまいります。

その『リハビリホームグランダ荻窪』の開設に先立ち、ご入居を検討されている方やご家族様に向けて、認知症専門医による講演を中心としたオープン前特別イベントを6月14日に開催いたしますので、併せてお知らせいたします。

本イベントでは、**杏林大学医学部付属病院 もの忘れセンター センター長・高齢診療科 診療科長 教授 亀山 祐美（かめやま ゆみ）**先生を講師にお迎えし、認知症予防や最新医療の知見について学べる機会をご提供します。セミナー終了後の個別相談会では入居に関するご相談を承りますので、お気軽にご参加ください。

## <オープン前特別イベント>

### ■ 医療セミナー

#### 『今日から始めてほしい、認知症予防へのアプローチ』

近年のアルツハイマー病の新薬導入や「認知症基本法」の施行により、認知症の診断と治療は新たな時代に突入したと考えられています。特にアルツハイマー病の早期発見の重要性がますます高まっています。認知症診療を取り巻く最新の状況、認知症発症予防のヒント等を、詳しく解説いたします。



講師：亀山 祐美（かめやま ゆみ）先生

杏林大学医学部付属病院 もの忘れセンター センター長・高齢診療科 診療科長 教授

- 開催日時 6月14日（日）14:15～15:40（13:45開場）
- 参加費 無料（事前予約制/定員100名）  
\*開催日の前日までにご予約ください。
- 会場 荻窪タウンセブン 8階「タウンセブンホール」  
住所：東京都杉並区上荻 1-9-1 JR中央線「荻窪駅」北口より徒歩約1分
- セミナーおよび事前相談会のお問い合わせ・ご予約  
ベネッセスタイルケアお客様相談窓口 フリーダイヤル 0120-17-1165  
受付時間 9:00～18:00（土・日・祝日含む毎日）

— ベネッセの介護付きホーム『リハビリホームグランダ荻窪』施設概要 —  
(介護付有料老人ホーム 一般型特定施設入居者生活介護 指定申請予定)

[https://kaigo.benesse-style-care.co.jp/area\\_tokyo/suginami/home\\_gd-ogikubo](https://kaigo.benesse-style-care.co.jp/area_tokyo/suginami/home_gd-ogikubo)



- 開設日：2026年10月1日予定
- 住所：東京都杉並区清水2丁目
- アクセス：・西武新宿線「荻窪駅」南口より徒歩15分(約1,185m)  
・JR中央線「荻窪駅」北口より徒歩19分(約1,510m)
- 敷地面積/延床面積：2,654.5m<sup>2</sup>/2,771.09m<sup>2</sup>
- 建物構造：鉄骨造 地上3階建1棟
- 居室数：55室(定員62名/全室個室)
- 土地建物の所有形態：事業主体非所有
- 居住の権利形態：利用権方式
- 利用料の支払方式：選択方式(全額前払い方式/一部前払い・一部月払い方式/月払い方式)
- 入居時要件：入居時自立・要支援・要介護、契約時原則満65歳以上
- 利用料金
- 入居金型プラン：  
入居金 1,680万円～4,592万円(非課税) / 月額利用料 26万810円～62万3,620円(税込)
- 月額支払い型プラン：  
月額利用料 63万8,110円～139万4,020円(税込)
- \* 月額利用料のほか、介護保険自己負担分が毎月かかります。

■ ホームの特徴

- ・日々の暮らしをサポートする介護職員を24時間365日、看護職員を日中365日配置。
- ・機能訓練指導員<sup>※1</sup>を配置(予定)し、個別のプログラムをご提案。  
※1：機能訓練指導員(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などの有資格者)を介護保険制度における常勤換算方式で概ね1名配置(予定)。
- ・居室は全室個室で20.4m<sup>2</sup>～40.9m<sup>2</sup>の8タイプ計55室。  
そのうち11室(30.7m<sup>2</sup>～40.9m<sup>2</sup>)にはミニキッチンをお二人での入居が可能な7室(40.9m<sup>2</sup>)にはミニキッチンとユニットバスを配備。
- ・居室のほかに、吹き抜けで開放感あふれるダイニングルーム、ご自宅のリビングのように自由にお過ごしいただけるテイルーム、ご家族様と団欒いただけるファミリールーム、リハビリ機器を使用した自主トレーニングや、モーショントレーニングマシンTANO<sup>※2</sup>が可能な「機能訓練室」をご用意。  
※2：非接触・非装着型モーショントレーニングツール「TANO」は、モーションセンサーを利用した福祉・介護・教育現場向けのゲーミフィケーションテクノロジーです(提供：TANOTECH株式会社)。
- ・生活に「アート」を取り入れ、手先の運動や自己表現の機会をつくります。その他、日々の楽しみとなる多彩なイベントを企画。
- ・四季折々の食材を使用したこだわりの食事をご提供。塩分・エネルギー制限や食形態の変更など、ご入居者様のお身体の状態に合わせた対応も可能。季節を感じられる「食のイベント」も定期的に企画。



・デジタル技術を活用した各種ソリューションの導入もおすすめ、ご入居者様の QOL 向上と人財育成につなげます。

- ① 睡眠センサー（全室導入予定）
- ② マジ神 AI（記録データ、睡眠センサーデータを活用した業務支援・人財育成システム）
- ③ 顔認証服薬ソリューション（スマートフォン顔認証技術による誤薬防止システム）
- ④ MeLL+（メルタス）（地域医療連携ソリューション）

#### ■居室付帯設備

・ナースコール・介護用電動ベッド・クローゼット・温水洗浄機能付トイレ・洗面・冷暖房設備・テレビ配線・電話配線

\* 全居室にない設備もございます。

\* 概要（面積等）は開設時に一部変更になる場合があります。

\* 完成予想 CG の内容は一部変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

#### <ベネッセスタイルケアグループについて>

ベネッセスタイルケアグループでは、ベネッセの不変の企業哲学「Benesse（＝よく生きる）」の元、30 年以上にわたり、入居・在宅介護事業、保育・学童事業を通じてその方らしさに深く寄りそい、お一人おひとりの「よく生きる」の実現に取り組んでいます。急速に進む少子高齢化と介護人材不足などの介護・保育を取り巻く環境の大きな変化の中でも、誰もが人生の節目を楽しみながら、自分らしく豊かに生きられる世界を実現できるよう、介護・保育領域を中心とした「人」に関わる社会課題に今まで以上に積極的に挑戦を続けていきます。持続可能な介護・保育事業の推進のほか、介護食事業・介護 HR 事業の取り組み、さらに働き手が不足する日本における介護・育児と仕事との両立支援サービス等、社会課題の解決に向けた取り組みを一層加速させていきます。

（ベネッセスタイルケアグループ企業サイト <https://benesse-scg.co.jp/>）